



# 大川陽一通信(号外)

## コロナウィルス感染症対策に関する要望書を市長に提出

(写真は太田市議会 会派・創政クラブ十一名 会派代表 大川陽一)



上毛新聞に掲載されました(4月15日朝刊)

### 感染拡大防止策と医療崩壊の回避についての要望書

コロナウィルス感染拡大の防止と市民生活への影響を最小限に抑えるため要望書を提出しました。第一に、医療崩壊を何とか回避しなければなりません。その為の準備を早急にする必要があります。医療行政は県の管理下に置かれ、直接携わる部分が少ない状況ですが、医師会など関係機関と協議をし、お願いし、市内の医療機関(開業医、二次救急病院、三次救急病院)のそれぞれの役割及び体制強化によって、医療崩壊の回避を図らねばならないと考えます。4月15日、「PCR検査」を迅速化するため厚労省は車に乗ったまま検査を受けられる「ドライブスルー方式」の導入を都道府県に推進するよう通達しました。二月の一日当たり平均1,000件から現在は7,000件に増えたが、各地で検査待ちの状態が続いており、検査時間の短縮や検査数の増加など体制強化を要望しました。ドライブスルー方式では、医師が患者の検体を車の窓越しから採取するため、手袋の交換だけで済みます。既に実施の新潟市では1日に採取できる検体が10検体から30検体が増えたそうです。屋外で感染リスクが低いというメリットもあります。又、東京杉並区では「地域医療崩壊」を防ぐため、四か所の病院の敷地内にテントを設置し、「発熱外来センター」を設けました。発熱やせきなど症状が出た人々を医師会の開業医が診察します。

PCR検査の体制強化求める

市民生活への影響を最小限にするために大型事業を延期することや、地域医療崩壊を防ぐため軽症の感染者を受け入れる施設の整備も求めた。

県内での新型コロナウイルスの感染拡大を受け、太田市議会会派の創政クラブ(大川陽一代表、11人)は13日、PCR検査体制の強化などを盛り込んだ要望書を清水聖義市長に提出した=写真。



咳エチケット



手洗い



換気

新型コロナウイルスの集団発生防止にご協力をお願いします

## 3つの「密」を避けましょう!

①換気の悪い密閉空間  
②多数が集まる密集場所  
③間近で会話や発声をする密接場面

3つの条件がそろった場所がクラスター(集団)発生のリスクが高い!

※3つの条件のほか、共同で使う物品には消毒などを行ってください。

首相官邸 厚生労働省

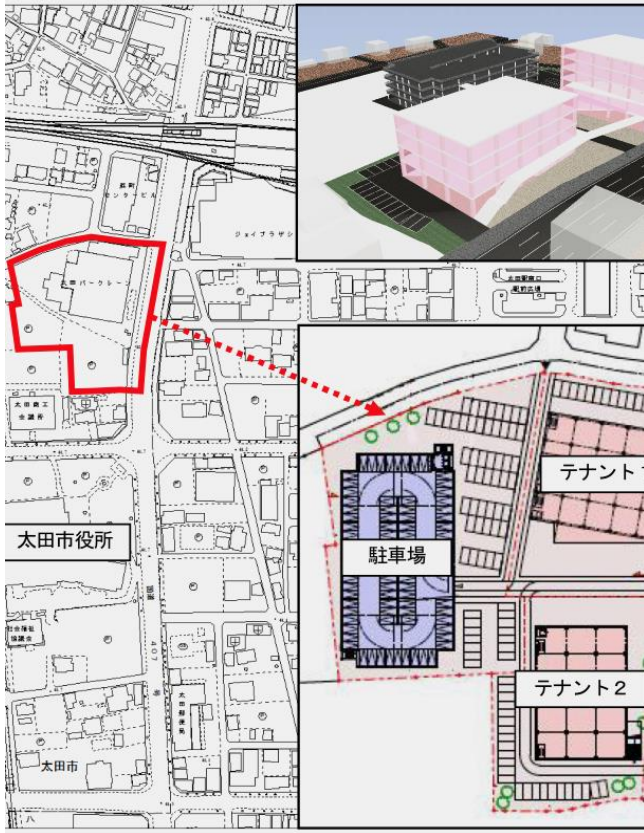
新型コロナウイルスへの対策として、クラスター(集団)の発生を防止することが重要です。日頃の生活の中で3つの「密」が重ならないよう工夫しましょう。



(仮称) 浜町第二地区市街地再開発事業  
**総事業費 50 億円 7,000 万円**  
 この他、南一番街第四地区も事業化される

# 太田市の補助制度

(予算がなくなり次第終了する補助金もあります。お急ぎください)



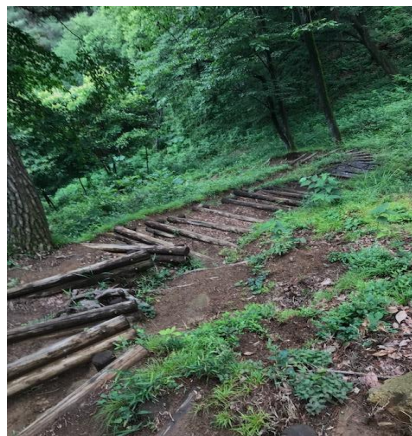
- ◎空き店舗対策家賃支援。賃料の1/2,月額3万円以内で6ヶ月以内
- ◎空き店舗対策リフォーム支援
- ◎商店リフォーム支援(20万円以上の工事の1/2以内)
- ◎住宅リフォーム支援(20万円以内の補助金) 補助対象あり
- ◎省エネルギー機器設置支援
- ◎太陽光発電システム設置支援
- ◎介護保険住宅改修費支援
- ◎身体障がい児・者住宅改修支援
- ◎耐震診断と耐震改修・建替えブロック塀などの撤去支援
- ◎浄化槽設置整備事業補助金
- ◎空き家などの除去支援

親水公園付近の水芭蕉⇒⇒⇒



## 新たに整備された 金山遊歩道

## 整備前



「金山ハイキングコースと水芭蕉群生地について」の一般質問で  
 予算化され、3年間の2年目、3000万円で只今改修事業実施中です

**金山遊歩道の改修費に9000万円**  
**令和元年度は西山コース、令和2年度は**  
**東山コースと標識などを整備予定**

※記事については4月17日現在のものです。